

「ワークポート新潟」の開設にあたって

新潟市長 篠田 昭



新潟市は、新潟県と共同で国の職業紹介と自治体の福祉サービスの一体的な実施を提案し、平成 25 年 1 月 15 日に東区役所内の一角に「ワークポート新潟」をオープンしました。ワークポート新潟は、ハローワークの職業紹介、県の職業訓練の情報提供、新潟市の生活支援が一体となり、就労支援と生活支援のワンストップサービスを実施するものです。

今、生活支援、特に生活保護制度について、さまざまな議論が出ています。生活保護は基本的に自立を支援する制度ですので、このワークポート新潟で自立を支援することは、利用者にとって利便性が高く、早期の就労にもつながるものと期待しています。

これまで新潟県とは、県・市の役割分担、あるいは力を合わせるといったことを考えていこうと、新潟州構想について議論してまいりました。その一つの成果がワークポート新潟に現れたのだと大変うれしく思います。

そして、この東区役所のある東区プラザは商業施設を活用したもので、例えば学習コーナーや子育て支援のエリア、さらに社会福祉協議会も一緒に入っています。そして、文化ホール、図書館、フィットネスクラブから飲食店までであるという、まさにワンストップですべての用が足りる施設です。ここにさらに、ワークポート新潟という大きな機能が備わったことによって、東区を中心としての区役所の機能充実が図れたものと考えています。

今後、ワークポート新潟の成果をしっかりと出していくことが重要だと思っておりますので、ワークポート新潟ができて生活保護から自立への道を歩み出す人が増えたというような実績をお示しできるよう、ハローワーク・新潟県とより一層連携・協力を密にし、利用者の利便性向上に努めていきたいと考えています。